

2021 年度 第 1学期 教養教育		日英区分: 日本語	
情報処理入門 1(情報機器の操作を含む) Introduction to Information Processing 1			
■ 講義番号	■ 科目区分		■ 学期
912209	教養教育科目		第 1学期
■ ナンバリングコード		■ 教室	
UILZ0FXZZ1—N			
■ 必修・選択の別			
必修			
■ 単位数		■ 曜日・時限	
1		月6木6	
■ 担当教員 (ローマ字表記)			
高柴 正悟 [TAKASHIBA Shogo]			

SDGs関連項目



■ 対象学生

2021年度入学者 (医 医) 歯 薬
2020年度以前入学者 -

■ 他学部学生の履修の可否

対象学生の項目を参照

■ 連絡先

電話番号 086-235-6675
Eメールアドレス stakashi@okayama-u.ac.jp

■ オフィスアワー

月曜日8:30-9:00 火曜日17:00-17:30 木曜日8:30-9:00 (いずれも、岡山大学病院 中央診療棟 4F 歯周病態学分野)
なお、変更がしばしばありますので、事前にe-mailで連絡があると助かります! 本学の公用mail addressを使用して下さい。さもないと迷惑メールとして分類されて対応出来ないことがあります。)

■ 学部・研究科独自の項目

関連しない

■ 使用言語

学生により日本語又は英語

■ 授業の概要

パソコンやスマートフォン等の情報機器は、インターネットの普及により日常生活に不可欠な存在である。さらに、個人情報の安全・安心な取り扱い能力、情報セキュリティの脅威への対応能力の向上等の情報リテラシー能力が求められている。しかし、実際は情報リテラシー能力や情報コミュニケーションにおける情報モラルは十分ではなく、社会的・倫理的なトラブルが発生している。
本授業では、実習を通じてパソコン、スマートフォン等の基本的な操作と情報リテラシーについて学習し、情報化社会に必要な基本的な知識と技術を修得する。
なお、個人の所有するパソコンを持ち込んだ実習を含む授業形態である。

■ 学習目的

情報化社会に必要なICTの基本的な知識と技術を修得し、情報機器を的確に利活用できる情報リテラシーと情報マナーを身につける。

■ 到達目標

- (1) 本学のICTサービスを使用することができる
- (2) インターネットを介した情報の取得や発信を安全に行うことができる
- (3) インターネット上の著作物を正しく引用することができる

■ 授業計画

教員は、高柴の他、複数教員とTAにて対応

- 1 4/12 ガイダンス、本学情報システムの概要説明 (*) (†)
- 2 4/15 無線LAN接続、moodle登録 (*)
- 3 4/19 統合認証システム (岡大IDとパスワードの変更)
- 4 4/22 岡大Gmailの使い方
- 5 4/26 Office365、ウイルスバスターのインストールと使い方 (*) (†)
- 6 4/30 (★★金曜日) 電子教科書、日経パソコンEduの登録と使い方
- 7 5/6 クラウドストレージサービス1 学内Zドライブ
- 8 5/10 クラウドストレージサービス2 OneDrive (*) (†)
- 9 5/13 講義1 情報セキュリティ
- 10 5/17 総合演習1
- 11 5/20 講義2 情報モラル
- 12 5/24 総合演習2 (*) (†)
- 13 5/27 講義3 法令順守と著作権
- 14 5/31 総合演習3
- 15 6/3 まとめと到達度確認試験

※(5:10 - 16:10)

注意 : (*) 高柴不在, (†) 柳不在

■ 授業時間外の学習(予習・復習)方法(成績評価への反映についても含む)

本授業では、授業資料の提供や課題提出の管理などに、授業支援システム"moodle"を利用する。予習及び授業時間に不思議に思った点は、日経パソコンeduにより各自その内容の確認と理解を図ること。授業においては教科書の説明は最低限にとどめるため、事前に読み込んでおくこと。

■ 授業形態

(1) 授業形態-全授業時間に対する[講義形式]:[講義形式以外]の実施割合

70% : 30%

(2) 授業全体中のアクティブ・ラーニング

協働的活動(ペア・グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションなど)

少ない

対話的活動(教員からの問いかけ、質疑応答など)

少ない

思考活動(クリティカル・シンキングの実行、問いを立てるなど)

少ない

理解の確認・促進(問題演習、小テスト小レポート授業の振り返りなど)

少ない

(3) 授業形態-実践型科目タイプ

該当しない

(4) 授業形態-履修者への連絡事項

本授業は、220名前後のクラス構成で実習を含めた講義形式で実施する。教科書を含め、資料はすべてmoodleに登録、eラーニングでの自学習が可能な形態である。そのため、各自が主体的に授業に参加し、不明な点や疑問点は、moodleで各教員に問い合わせる等の授業時間外の積極的な活動が必要である。

本授業後半の講義においては、各回の講義内容の重要事項を説明し、その確認試験としての小テストを行う。

なお、特別な配慮を必要とする場合は、事前に相談すること。

■ 使用メディア・機器・人的支援の活用

視聴覚メディア(PowerPointのスライド、CD、DVDなど)

多い

学習管理システム(Moodleなど)

多い

人的支援(ゲストスピーカー、TA、ボランティアなど)

多い

履修者への連絡事項

使用する機器は、各自の保有するノートPCを基本とし、各回必ず持参して受講すること。
教科書を含め、資料はすべてmoodleに登録、eラーニングでの自学習が可能な形態である。
なお、特別な配慮を必要とする場合は、事前に相談すること。

教科書

備考

※上記教科書購入により、下記2つのコンテンツが利用可能となる

- ・電子ブック「学生のための 情報」基礎 改訂版
 - ・日経パソコンeduJの4年間のアクセス権
- ※)本教科書は、情報処理入門2、3でも利用する。

岡山大学生協扱い教科書の購入方法は、教科書情報"Text-it"（テキストイト）

<https://okadai.textuniv-coop.net/>でご確認下さい。

参考書等

備考

上記を参照、活用すること。その他、必要に応じて各自でインターネットによる情報検索を活用すること。

成績評価の方法

出席は10回以上を成績対象とする。10回に満たない場合は、たとえ9回出席していても成績評価を行わない。
成績は、3回の小テスト、最後の到達度確認試験、および、演習の評価結果により総合的に評価する。

受講要件

特になし

教職課程該当科目

教職課程該当科目

JABEEとの関連

- (g) 自主的、継続的に学習する能力
- (h) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力

SDGs関連項目

(教育)すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。

実務経験のある教員による授業科目

該当する

医療情報

備考/履修上の注意

本授業は全学生向けの必須科目であるとともに、教職課程のための科目としても位置づけられている。教職課程を取得する学生は、本科目と、情報処理入門2または3のいずれか1科目の2単位の履修が必須であるので注意されたい。

本科目は、全学必修科目である。そのため、確実な単位取得を期待する。単位取得に失敗した場合、次年度の第1学期に開講する再履修科目を選択すること。